

新法人の予算・収支計画・資金等の状況

1 設定条件 (R11 年度)

病院名	入院単価	稼働率
県立広島病院	90 千円	90～90.3%
県立安芸津病院	40 千円	86.7～95%※
県立二葉の里病院	66 千円	74.1%～75.1%

各病院において、現状程度の単価水準を維持し、コロナ前の水準程度の稼働率を設定
 ※95%は耐震化後の稼働率を見込む

2 予算 (第 1 期中期計画期間 (5 年) 累計) ※今後も収支精緻化等により変動する可能性あり

区分別	収入累計 (a)	支出累計 (b)	合計 (a-b)
県立広島病院	1,600 億円	1,592 億円	8 億円
県立安芸津病院	144 億円	158 億円	▲14 億円
県立二葉の里病院	686 億円	664 億円	22 億円
法人本部 (新病院建設費等含む)	849 億円	859 億円	▲10 億円
合計	3,279 億円	3,273 億円	6 億円

- ・安芸津病院は支出が収入を上回る見込みであり期間合計はマイナス
- ・また、法人本部 (新病院建設費等含む) の収入には、法人本部人件費に対する繰入金及び新病院建築関係借入に係る元利償還金の一部への繰入金、長期借入金収入を、支出には借入利息及び法人経費等を見込み、支出が収入を上回るため期間合計はマイナス
- ・広島病院、二葉の里病院のプラスにより、法人全体ではプラスを見込む。

【中期計画掲載イメージ】

I 予算 (令和 7 年度から令和 11 年度まで)		(単位: 百万円)
区分	金額	
収入		
営業収益		
医業収益	191,860	
運営費負担金	15,745	
その他営業収益	1,605	
営業外収益		
運営費負担金	3,747	
その他営業外収益	2	
資本収入		
運営費負担金	500	
長期借入金	109,992	
その他資本収入	4,400	
その他の収入		
計	327,851	
支出		
営業費用		
医業費用		
給与費	98,815	
材料費	59,018	
経費	34,570	
研究研修費	998	
一般管理費		
営業外費用	7,951	
資本支出		
建設改良費	114,361	
償還金	11,605	
その他の支出	0	
計	327,318	

3 収支計画（損益計算書/PLに相当）※今後も収支精緻化等により変動する可能性あり

区分別	収入の部	支出の部 (b)	合計 (a-b)
県立広島病院	1,535 億円	1,599 億円	▲64 億円
県立安芸津病院	104 億円	129 億円	▲25 億円
県立二葉の里病院	437 億円	421 億円	16 億円
法人本部 (新病院建設費等含む)	64 億円	68 億円	▲4 億円
合計	2,140 億円	2,217 億円	▲77 億円

- ・広島病院及び安芸津病院の各建物について、新病院開院と安芸津耐震化工事完了のタイミングまでに簿価を全額償却（償却期間の短縮）する予定であること等から、減価償却費が増加している（R5 対比・・・広島病院：+17 億円/年（期間合計+85 億円）、安芸津病院+1.2 億円/年（期間合計+5.9 億円））。
- ・上記の減価償却費を含む支出が収入を上回るため、法人全体の損益累計はマイナスである。
- ・一方で、計画期間中の資金は一定程度確保できることから、法人の運営を維持することは可能である。

【中期計画掲載イメージ】

区分	金額
収入の部	
営業収益	
医業収益	191,860
運営費負担金収益	16,245
資産見返補助金等戻入	549
資産見返寄付金戻入	
資産見返物品受贈額戻入	
その他営業収益	1,605
営業外収益	
運営費負担金収益	3,747
その他営業外収益	2
臨時利益	16
支出の部	
営業費用	
医業費用	
給与費	98,815
材料費	53,754
経費	31,487
減価償却費	20,284
研究研修費	909
一般管理費	
営業外費用	15,274
臨時損失	1,210
純利益	▲7,708
目的積立金取崩額	
総利益	▲7,708

(4) 資金計画 ※今後も収支精緻化等により変動する可能性あり

区分別	収入の部	支出の部 (b)	合計 (a-b)
県立広島病院	1,594 億円	1,580 億円	14 億円
県立安芸津病院	145 億円	158 億円	▲13 億円
県立二葉の里病院	671 億円	658 億円	13 億円
法人本部 (新病院建設費等含む)	849 億円	859 億円	▲10 億円
合計	3,263 億円	3,259 億円	5 億円

- ・R5 年度決算を反映し、(1)設定条件における運営状況を精査したところ、人件費増加や金利上昇等の影響があるものの、計画期間中の法人全体の資金はプラスを維持。

【中期計画掲載イメージ】

Ⅲ 資金計画 (令和7年度から令和11年度まで)		(単位:百万円)
区分	金額	
資金収入		
業務活動による収入		
診療業務による収入	189,948	
運営費負担金による収入	19,976	
その他の業務活動による収入	1,620	
投資活動による収入		
その他の投資活動による収入	4,400	
財務活動による収入		
長期借入れによる収入	109,992	
その他の財務活動による収入	2	
繰越金	728	
資金支出		
業務活動による支出		
給与費支出	98,815	
材料費支出	53,880	
その他の業務活動による支出	41,975	
投資活動による支出		
有形固定資産等の取得による支出	114,361	
その他の投資活動による支出	0	
財務活動による支出		
長期借入金の返済による支出		
移行前地方債償還債務の償還による支出	11,605	
その他の財務活動による支出	4,767	
次期中期目標の期間への繰越金	1,263	

【参考】 予算・収支計画・資金計画の概要

項目	予算	収支計画 (損益計算書に相当)	資金計画 (CF 計算書に相当)
基本的な考え方	資金ベース 「収入 ≠ 支出」	損益ベース 「収益-費用 = 損益」	資金ベース 「収入 = 支出」
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・資金ベースの収入と支出を表したもの (税込み)。 ・非現金の収入や支出、繰越金は含まない。(ただし、未収・未払い等は含む。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・損益ベースの収入と支出を表したもの (税抜き)。 ・非現金の収入や支出を含む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資金の流れを活動ごと (業務活動・投資活動・財務活動) に区分したもの (税抜き)。 ・非現金の収入や支出は含まない。 ・前期からの繰越金及び時期の繰越金も含めて資金の流れを示す。